

# 井泉



令和7年2月28日  
富山県立八尾高等学校  
井泉会

TEL (076) 454-2205  
FAX (076) 454-5999

URL <http://www.yatsuo-h.tym.ed.jp>  
E-mail [yatsuoko@ed.pref.toyama.jp](mailto:yatsuoko@ed.pref.toyama.jp)

## SEISEN No.148



1年生地域学習



球技大会



交通安全フェスティバル



2年生企業見学



風の盆 (郷土芸能部)



保内かがやき教室



ハートフルクリスマス



ハートフルクリスマス



1年生黒瀬谷プロジェクト

### 未来へ羽ばたく皆さんへ



井泉会副会長  
福村美由紀

卒業おめでとうございます。今日という特別な日を迎えた皆さんに、私たちPTA一同、心から祝福とエールを贈ります。この三年間、勉強や部活動、学校行事を通じて多くの経験を重ね、皆さんは大きく成長されました。その努力と挑戦の積み重ねは、これからの人生における大切な力となるでしょう。アメリカの発明家トーマス・エジソンは、「成功への道に近道はない。た

### いじめやいじめも育つ



副校長  
堺 康浩

二十年前と比べ、県内にプロスポーツチームが増え、ハイレベルな試合を目の前で観戦できるようになりました。その中でも、女子バレーボールは、かつて日本の「お家芸」であり、鬼監督の厳しい指導やコートに怒号が響く場面がテレビ放映されていたものです。しかし、現代の事情は違うようです。大山加奈選手をはじめ、木村、荒木など数々の日本代表選手たちを育てた成徳学園小川先生は、見守ることを第一とし、叱ることはなかったのです。「こうしろ」とは言わず「どうしたらよいと思うか」を選手に問いました。キャプテンの大山加奈は、「怒って命令された方が楽だった。」と当時を振り返っています。逸材の選手たちを抱え、競技を好きであり続けることを第一と考

だし、努力と忍耐がその最短のルートだ」と語っています。この言葉の通り、これから皆さんが歩む新たな道には、希望に満ちた未来が広がっていますが、同時に挑戦や困難もあるでしょう。しかし、それを乗り越えるための力は、これまでの経験の中で確かに培われています。自分を信じ、勇気を持って一歩ずつ前に進んでください。どんなときも、家族や友人、そしてここで出会った人々が皆さんを見守り、応援しています。自分らしさを大切にしながら、新たな世界に向かって大きく羽ばたいてください。皆さんの未来が希望と喜びに満ちたものとなることを心より願っています。卒業、本当におめでとうございます！

えた指導だったと大山選手は考察します。横浜市の私立中学校長だった工藤勇一氏は、「叱る場面」を限定することを提案しました。命に関わる場面、人権の侵害に関わる場面、犯罪に関わる場面の3つでした。大きな声を発するのは一瞬で、ねちねちとは続きません。叱られる子供の脳内では、交感神経が反応し、「逃げる」または「戦う」の選択が迫られます。ほとんどは「逃げる」が選択され、場面を繕う行動になってしまうのです。「やめろ！」と声を発し、その行為を止めたなら、理由と本人の望みと必要な支援を考えさせます。孤立させず、つながることで成長を促す方法です。「叱れば育つ」は幻想より一部引用) 卒業生の皆さんには、感謝の言葉を是非、家族に伝えてください。小学校からの学校生活を全うするために、親業後、親子関係が成熟し、少し心が広くなったみなさんに、またどこかで会えることを楽しみにしています。

# PTA活動報告

## 第73回 全国高P連大会に参加して

総務部 栄 秀樹



8月22日(木)、23日(金)の2日間にわたり、第73回全国高P連大会茨城大会が水戸市周辺で開催されました。本校からは、西島会長、南部校長、栄の3名が参加しました。「歴史の町で変革を!!」新たな時代が目に入らぬか」をテーマに、水戸光圀公の歴史的遺産がある茨城を学びの場として、「学校、家庭、地域でどのような教育が求められていくのか」について、情報交換や共有を行いました。

参加されたPTA役員の方々と協議し、「PTA活動を制限されても学校側から活動を制限されていく」などの現状の悩みを伺いました。

二日目には記念講演として、二所ノ関親方(第72代横綱・稀勢の里)の講演が行われました。親方は日本の伝統文化である「相撲」における不合理や矛盾に風穴を開け、スポーツビジネスの考え方や合理的なトレーニングを積極的に取り入れている姿勢について語られました。お弟子さんへの愛情がふれる優しい語り口でお話しされ、大変感慨深い講演となりました。

## 令和6年度 県高P連大会・指導者研修会

総務部 栄 秀樹

10月22日(火)、ホテルグランテラス富山にて標記大会が開催されました。本校からは、西島会長、福村副会長、南部校長、栄の4名が出席しました。大会では、富山中部高校、伏木高校、南砺平高校、高岡高等支援学校のPTA活動に関する事例発表が行われました。伏木高校の発表では、本校と同様にPTA組織の見直しについての取り組みが紹介されました。具体的には、役員数や委員会の削減、広報誌発行回数

の見直しを通じて、保護者の負担軽減や活動内容の効率化を図る事例が共有され



ました。続いて行われた指導者研修会では、学生服メーカーの(株)菅公学生服から堀寿次講師をお招きし、「PEP TALK」やる気を引き出す言葉の力」と題した講演が行われました。講演では、心に響く励ましの言葉を磨くための理論と実践が紹介されました。あの大谷翔平選手がWBC決勝前にチームメイトに語った「憧れるのをやめよう……」という言葉は、このPEP TALKの理論に当てはまる「最後の一押し」の言葉だったそうです。生徒や子どもたちを励まし、勇気づけるための発信力を、自分自身もぜひ身につけたいと感じる研修会でした。

## 大人の遠足

研修委員長 谷口 秀誉

十月十五日(火)、PTA研修会(大人の遠足)が開催され、先生を含む十八名が参加しました。今年は富山大学を訪問し、「新時代に適応し、活躍できる人材を育成する」を目標とした取り組みや卒業後の進路状況について説明を受け、図書館などの施設見学を行いました。また、大学の在り方や利点についても新たな視点から説明をいただきました。

八尾高校卒業生との懇談では、進学準備や学部選択時の考え方、将来への思いなど、参考になるお話が聞けました。

昼食は不動産会社が運営する居住者専用のお店「セカンドキッチン」で、美味しく健康を意識した低価格の食事を楽しみ、午後は富山ガラス工房で作品を制作し、保護者同士の交流を深める機会となりました。今年は何年とは少し異なる内容で実施しましたが、大変有意義で楽しい一日となりました。

## 保護者のひろば

### クルーメンバーと共に

33HP 長澤しのぶ

娘は入学した当初、どこの部に所属しようかと真剣に悩んでいました。「ボート部はちょっと無理かな」と言っていたのに、顧問の先生の勧誘もあり、「ボート部と書いて提出してきた」と笑いながら報告してきた日のことは今でも鮮明に覚えています。

練習は楽しいことばかりではなかったと思います。手の皮は向け、長距離を漕いだ日は一疲れた。もうやりたくない」という日もありました。でも何故かいつも楽しそうでした。先生方の熱いご指導と先輩やクルーメンバーと共に同じ目標に向かって練習を重ね、気がつけば全国大会は五回も出場するクルーになりました。この達成感はこの頃から先も大きな自信につながるものとなりました。

娘の高校生活はなかなか経験することが出来ないものになったと思います。忙しい中、ご指導くださった先生、関係者や保護者の方々に感謝申し上げます。



## おわらと過ごした三年間

監事 山本 俊介

昨年八月、部の念願であった全国大会のステージに立ちました。富山県代表としてのその演技は高校生らしい緊張感もありつつ、八尾の伝統おわらを堂々と演じていました。三年生の娘にとって有終の美で飾った高校生活最後の夏となりました。

娘は入学当初、入部に悩んでいましたが、三味線に興味を持つことがきっかけとなり背中を押しました。おわらの経験はなかったのですが、入部してからはおわらの魅力に触れ、私たち家族にも踊りを教えてくれました。そして、郷土芸能部の活動は私たち家族にとっても楽しみなものになりました。

時に娘は忙しさのあまり、「しんどい」と言うこともありましたが、最後まで全うすることができたのは共に切磋琢磨する仲間と出会えたからだと感じています。

郷土芸能部で過ごしたことは娘にとつて大きな成長、そして財産となり、私たちが家族に新風を吹かせてくれました。最後にサポーターとしてくださった皆様方、郷土芸能部の仲間たちに感謝申し上げます。



# 進路探訪 (2学年)

8月20日(火)から22日(木)の3日間、2学年では見聞を広げ、自らの進路選択に役立てるため進路探訪に行ってきました。1日目はクラス別に大学を訪問し、2日目は班別に大学を見学した後、東京ディズニーシーで楽しいひと時を過ごしました。3日目はコース別に分かれて事業所を見学しました。

## 見学先(クラス別) (1日目)

21H	芝浦工業大学	神奈川大学
22H	東京都立大学	東洋大学
23H	立正大学	明治大学
24H	東京学芸大学	白梅学園大学

## 見学先(コース別) (3日目)

理系	文系①
パナソニックセンター	東京証券取引所
科学未来館	国立博物館
福祉	文系②
東京都パラスポーツトレーニングセンター	国会議事堂
川村義肢株式会社	JICA

※ 2日目の班別行動は、上智大学、国土館大学、東京都立大学、法政大学、立教大学、武蔵野大学、早稲田大学、明治学院大学、東京未来大学、慶応大学などを訪問



国立博物館



ディズニーシー



明治大学



パラスポーツトレーニングセンター



東京証券取引所



東京学芸大学



東京都立大



国会議事堂



科学未来館

# TAKANAKI WEEK

9月24日(火)~27日(金)



九月二十四日(火)~二十七日(金)にかけてTAKANAKI WEEK(文化部活動発表週間)が開催されました。期間中は茶道部のお茶会、書道部、美術部、華道部による作品展示、郷土芸能部、吹奏楽部福祉コース、委員会等のステージ発表が行われました。また、最終日には「親と子の懇談会」も開催されました。

## 子供の成長に感謝

32HP 林 貴子

幼いころから英語が好きで、中学では英会話部に所属していた娘が、高校では新たに茶道部に入部しました。入部のきっかけは祖母でした。今では祖母も娘から道具や作法についてアドバイスを求められると非常にうれしそうに対応します。

娘は学校行事に積極的に参加していましたが、責任ある立場にはなつたことはありませんでした。しかし、茶道部の部

長に就任したことで、責任を持つ立場に挑戦したいという気持ち芽生えたようです。お茶会に参加した際、指導者である宮田先生から努力を認めていただき、お褒めの言葉をいただきました。大変感謝しております。祖母も娘の成長した姿を見て、非常に喜んでいました。

これからは、大人の仲間入りです。どんなことにも挫けずに挑戦し、努力を続けてほしいと思います。また、感謝の気持ち忘れず、多くの人が必要とされる存在になってください。頑張ってください。先生方には大変お世話になりました。今後も娘の成長を見守っていただけると幸いです。

## 親と子の懇談会に参加して

学年委員 中邑 克信

九月二十七日(金)「親と子の懇談会」が開催されました。昨年度までは、学年ごとに開催していた懇談会を、今年は三学年合同とし、二つのテーマで話し合うことにしました。

一つ目のテーマは、将来の夢についてそれぞれの夢を語り、それに向かって実践していることを発表しました。保護者からは現時点で夢を持ち、そのことについて語れることへの賞賛の声もありました。



二つ目のテーマは、フリートークとし、文化祭についての話や、一・二年生から三年生に対する勉強時間についての質問があり、三年生からは一・二年生の間にしておきたいことについてのアドバイスもありました。また卒業後の進路に関して、県外での生活を体験した後に富山へ戻り、地域貢献したいとの意見を聞き誇らしく思えたものでした。

このような、親子での対話の機会を与えていただき感謝いたします。

## 地域学習(一学年)

十一月十二日(火)、一学年では総合的な探究の時間を活用し、八尾旧町について学ぶ地域学習を実施しました。

事前学習では班ごとに八尾町の「歴史」「和紙」「おわら」「曳山」「養蚕」などを調べ、地域学習当日は間名寺住職から貴重な時間を割いていただき、寺の縁起などをうかがいました。八尾在住でない生徒の中には、「八尾にどんなものがあるのか知らなかったが、八尾高校生として少しは知っていたので、この地域学習を通して八尾のことを知ることができて嬉しい」という感想がありました。



## PTA 研修会「山辺雄翔氏」講演会

研修委員 蛭川ひとみ

十一月二十二日(金)、井泉会初の試みとして山辺雄翔氏による講演会が開催されました。講演会に参加してみても自分が忘れていた、勇気を持って、とりあえずやってみる(Try)、ことの大切さを思い出しました。人生は選択の連続です。私自身も後悔を少なくするために「出来ない」ことに目を向けるのではなく、「出来る」ことに目を向け、とりあえずやってみる。ことをたくさん経験し、自信をつけて次のチャレンジにつなげたいと思います。

コロナ禍になってからは地域社会とのつながりが少なくなつてしまいましたが、人との関わりを持つことで色々な考え方や問題点に触れ、自分で解決する力が養われるのだと気付かされました。

この講演会が生徒たちにとって自分の将来を生き抜くためのヒントにするのか、輝くためのヒントにするのかを考えるきっかけにできれば良いと思います。山辺さんの言うように自分の



未来にワクワク出来る子供たちが一人でも多く増えることを同じ大人として願ってやみません。そして、大人である私たちも子供たちの手本となるように日々成長して行きたいと思えます。

# 卒業生からの言葉

三年間を振り返って、家族への感謝の言葉を書いてももらいました。

# 贈る言葉



## 31 H

❖ 入試の時に一杯サポートしてくれたお陰で元気が出ました。本当に何から何までありがとう。

❖ 毎朝、早くから起きて弁当を作ってくれてありがとう。温かいご飯によつて一日中元気に過ごせました。

❖ 進路の相談に真剣に乗ってくれてありがとう。これからも夢を叶えるために勉強を頑張ります。

❖ いつも送迎してくれてありがとう。お陰様で勉強、部活動に集中することができました。

❖ いつも私のことを一番に考えてくれてありがとう。自慢の娘になれるように励みます。

❖ 私は、この三年間でたくさんのお陰で、多くの知識や考え方を学びました。これらを自分の今後に生かしていきたいです。頑張ります。

❖ 平日は学校があつて休日は部活動があつて休みがなかったけど、毎日早起きして朝ごはんや弁当を作ってくれたり、送迎したりしてくれてありがとう。これからは親孝行できるように頑張ります。

❖ 毎日美味しいお弁当を作ってくれたり、部活の送迎してくれたりしてありがとう。これからは、自立できるように頑張ります。

## 32 H

❖ 部活や勉強、けがなどの多くの面からサポートしてくれてありがとう。大学でも頑張ります。

❖ 三年間ずっと、送迎や弁当作りなどの面倒なことをやってくれてありがとう。毎日送迎やお弁当を作ってくれたこと、進路実現のために寄り添ってくれたことでも感謝しています。三年間学校生活を支えてくださつてありがとうございます。

❖ 進路について否定せずに受け入れてくれてありがとう。部活でたくさん迷惑かけたけどたくさん応援してくれてありがとう！

## 33 H

❖ 進路選択で悩んでいた時楽しい話や美味しいごはんを励ましてくれてありがとう！これからは自分が家族を支えていき恩返ししていきたいです！

❖ どんな時もわたしの味方になって寄り添ってくれてありがとう。感謝の気持ちでいっぱいです！

❖ 中学生の時から部活動でいろんな場所へ行つたけれど、どんな時でもお弁当を作ってくれたり、送迎してくれたり、演奏を聴きにきてくれてありがとう。いつもうれしかったよ！！

❖ 毎日おいしい弁当を作ってくれたり、送り迎えをしてくれたりしてありがとうございました。

❖ 部活や進路のことたくさん話を聞いて夢を応援してくれてありがとう！これからは自立した立派な姿を見せられるように頑張ります。

❖ 朝早くから弁当を毎日作ってくれてありがとう。進路で悩んでいる時も相談に乗ってくれてありがとう。

❖ 毎日のお弁当、送り迎えなど本当にありがとう！おかげで楽しく、充実した高校生活が過ごせました。これからも迷惑をかけるかもしれないけれど、少しずつ恩返ししていきます！

❖ 三年間美味しい弁当を作ってくれて

## 34 H

❖ たくさん迷惑もかけたけど、文句ひとつ言わずに育ててくれてありがとう！！自分のやりたいことをやらせてくれたおかげで多くの経験ができました。支えてくれたおかげです！！感謝します！！

❖ 朝早い中、忙しくても部活動や土日の模試の日を送り迎えをしてくれてありがとう。

❖ 毎日お弁当を作ってくれてありがとう。悩んでいた時に話を聞いてくれてとてもありがたかったです。これからもお世話になります。

❖ 将来の夢を否定せずに応援してくれてありがとう。これから恩返しできるように頑張ります。

❖ いつもおいしいお弁当を作ってくれてありがとう。感謝しています！

❖ 福祉コースの実習の計画をしているときに相談に乗ってくれたり、一緒に準備をしてくれてありがとう！おかげで利用者さんと一緒に楽しめました！これからもよろしくお願ひします。

❖ 自分のやりたいことを全力で応援して支えてくれてありがとう。充実した三年間になりました。

❖ 平日も休日も毎日送り迎えとお弁当ありがとう。部活のために中学からずっと応援して部活のために中学から来てありがとう。これからもよろしくお願ひします。

❖ 十八歳になってもずっと甘えん坊のままでもごめんね。これからは自分でもできるよに頑張るね。普段は恥ずかしくて言えないけど、この家に生まれてくれて世界一幸せだよ！ありがとう！

## 卒業生のみなさんへ

三学年広報委員  
宮田 晴元

卒業、誠におめでとうございます。部活での汗、受験勉強の夜更かし、クラスでの笑い声、。高校生活はきつと宝物のような思い出で溢れていることでしょう。PTA活動を通して、皆さんの成長を間近で見ることができ、私たちも多くのことを学びました。

「精熱く力の限り駆け抜ける！」のスローガンで行われた体育大会。全学年をまとめ工夫を凝らした応援合戦、男女ともに力強くたくましく戦つたタイヤ引き。実はこの競技にもこれから必要となる協調性が必要で、目標を達成するために自分の役割を理解し他のメンバーと協力して課題を解決するということに繋がっており、八尾高校3年間で素晴らしい成長をしたと感じました。

学校で学んだことを忘れずに、夢に向かって進んでください。そして、また学校に足を運んで、先生方や一緒に学んだ仲間



# 令和6年度 2・3学期 部活動成績

## 〈ボート部〉

### ◎令和6年度富山県高等学校新人選手権大会ローイング競技

男子舵手付きキョドルブル 1位(全国高校選抜競漕大会中部地区予選会出場権獲得)  
 久和 圭太 宮先峻太郎 當田 晶生 田中 澁大 福島 惟力  
 3位 中澤 佑斗 河部 俊太 清水 勇汰 阿部 大翔 中邑 颯汰  
 男子ダブルスカル 1位(全国高校選抜競漕大会中部地区予選会出場権獲得) 前田 新心 毛利 碧  
 2位 加藤 漣 城生 壘伎  
 男子シングルスカル 3位(全国高校選抜競漕大会中部地区予選会出場権獲得) 青山 瑠惺  
 女子シングルスカル 1位(全国高校選抜競漕大会中部地区予選会出場権獲得) 宮口 迪子  
 2位 福井 陽菜  
 3位 四谷 美菜

※中部地区予選会は荒天により大会全体は成立せず

## 〈吹奏楽部〉

### ◎第46回富山地区アンサンブルコンテスト

打楽器三重奏 銀賞 サクソフォン四重奏 金賞 金管八重奏 金賞 フルート三重奏 銀賞

### ◎第5回JBA管打楽器ソロコンテスト富山県大会

高校生の部 金賞 山田 雅仁

## 〈テニス部〉

### ◎第四十回富山県高校生テニスサーキット

二年生女子シングルス 3位 島田 有彩  
 一年生女子シングルス 準優勝 高野 茜湊

### ◎令和6年度富山県高等学校新人テニス大会

女子シングルスBクラス 3位 高野 茜湊

## 〈美術部〉

### ◎第49回富山県青少年美術展

工芸部門 佳作 中村 晃大  
 デザイン部門 佳作 下尾 彩花  
 入選 柳瀬あゆみ 河合 瑛仁  
 絵画部門 入選 中村 蒼衣 岡田 玲威

### ◎第42回富山県高校生の平和作品展

造形部門(立体) 優秀賞 中村 晃大  
 造形部門(平面) 佳作 河合 瑛仁



男子ダブルスカル(前田・毛利)  
中部地区大会にて

## 〈書道部〉

### ◎第49回富山県青少年美術展 書道部門 入選 藤井 りお

### ◎第66回富山県小・中・高校生書初大会 推薦 藤井 りお

## 〈卓球部〉

### ◎令和6年度富山県高等学校秋季卓球選手権大会富山地区予選会 女子ダブルス 3位 市井 優衣 富澤 奈歩

## 〈ソフトボール部〉

### ◎令和6年度富山県高等学校秋季大会ソフトボール競技(新川地区大会) 3位 八尾・雄山・富一合同チーム

## 〈陸上競技部〉

### ◎第61回富山県高等学校新人陸上競技対校選手権大会

男子110mH 6位 川口 遙士  
 女子やり投 6位 黒田桜乃華  
 女子円盤投 7位 黒田桜乃華

## 〈福祉コース〉

### ◎おおしま国際手づくり絵本コンクール2024 ジュニアの部 入選 松岡 心結

## 〈水球〉

### ◎2024年度近畿秋季女子水球大会 4位 山口 和瑚

### ◎第47回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会

水球競技 3位 山口 和瑚

## 〈図書〉

### ◎令和6年度校内読書感想文コンクール

最優秀賞 白石 心和 鹿島 相那  
 優秀賞 荒本依緒俐 櫻尾 咲希  
 佳作 佐渡 美羽 森 悟史 中村 心南

### ◎第36回読書感想画中央コンクール

富山県高等学校の部 入選 白石 心和

## 〈生徒指導部〉

### ◎令和6年度八尾町青少年育成標語コンクール

入賞 西島 鈴 高松 天音 藤井 優衣 小泉 瑞貴 坂口 楓花 大河みなほ 土田 心愛  
 青木 璃子 瀬戸 湖遥 村杉 涼介 矢方 麻結 前田 拓心 杉下 桃香 藤井 りお  
 森野 莉亜 鳥井 翔太 広瀬 良樹 中邑 兼進 柳瀬あゆみ 納村 蒼奈

## 〈郷土芸能部〉

### ◎第36回富山県高等学校文化祭 郷土芸能部門 優秀賞



「帰郷」 中村 晃大  
富山県高校生の平和作品展出品作品

飯田 康信(総務部)  
 栄 秀樹(総務部長)  
 堺 康浩(副校長)  
 西島 良樹(井泉会会長)  
 志村 圭子(広報委員)  
 宮田 晴元(広報委員)  
 岡田 麻奈実(広報委員長)  
 廣報委員会



今後の予定  
 2月28日(金) 卒業式予行  
 卒業式入会式  
 同窓会入会式  
 3月3日(月) 第77回卒業式  
 3月6日(木)・7日(金) 県立高校一般入学者選抜(家庭学習日)  
 3月14日(金) 県立高校合格発表  
 3月24日(月) 3学期終業式  
 4月8日(火) 1学期始業式  
 入学式